

〔論文〕

ブルクミュラーの学び方

—保育士養成校で必要な教え方とは—

井上裕子

はじめに

ブルクミュラーとは作曲家の名前であり曲集名ではないのであるが、今日ではブルクミュラーと言えばイコール「25の練習曲 Op.100」(以下、「ブルクミュラー」という)と思われることが、当たり前のようになっている。日本では「ブルクミュラー」は、バイエルが終わったら次に始める教則本として認識され、入門コースの定番の流れの中での地位を、確固たるものにしていく。

「ブルクミュラー」が日本に入ってきたのは、1889年明治時代、長崎のミッションスクール活水女学校の初級コース第2学年の教程¹⁾に使われており、これが日本での始まりであろうと思われる。バイエルと共に多くの版が出るほど人気のある入門書であり、保育士養成校でも使用している所は多いが、なかなか全25曲をさせるだけの時間が無いのが現状で、さりとて、バイエルの後直ぐにソナチネに入るのは無謀である。それでは「ブルクミュラー」をどのように使っていけば少しでも有効に学べるのか、保育士養成校としての視点から考えてみる。

I 作曲家 ブルクミュラー

フリードリヒ・ヨハン・フランツ・ブルクミュラー (Friedrich Johann Franz Burgmüller)²⁾ は、1806年12月4日南ドイツのレーゲンスブルクに生まれ、1874年2月13日パリ郊外のエソンヌ県で逝去した。享年67歳であった。

父は実力派の音楽家、母は貴族出身の歌手でピアノ教師、長男は後に軍人となり、そして次男のフリードリヒ、その4歳下の三男ノルベルトもまた、その才能を26歳という若さでこの世を去ってからは、メンデルスゾーンやシューマンに高く評価された作曲家であった。

ヨーロッパではブルクミュラーと言えば弟ノルベルトの方が有名で、フリードリヒは軽快で明るく、ノルベルトは深刻で生真面目な作風と評される。

フリードリヒは28歳の時パリに移住し、サロン音楽の作曲家として成果を挙げ、安定した暮らしを送るようになるが、母が亡くなった1858年頃からは、作曲家としてよりもピアノ教師として力を注ぐようになる。フリードリヒは、私たちがよく知っている「ブルクミュラー」のようなピアノ小品だけではなく、バレエやオーケストラの曲など400以上の作品を残しているが、いわゆる本格的な作品ではあまり認められず、教則用の作品で名を馳せた作曲家であった。

II 「ブルクミュラー」各曲の内容と学生を指導して見えてくるもの

「ブルクミュラー」の詳しい分析などについて書かれたものは、数多く出版されているので、ここではポイントは簡単におさえ、本学で使っている番号No.2・3・5・7・8・9・10・11・14・15・16・19・20・21・25以上15曲について、幼児教育（以下、「幼教」という）の学生を指導して見えてきたものを中心に表1にまとめてみた。

なお、各曲に親しみやすい標題が付いているが、この標題は元来「ブルクミュラー」の初版譜がパリで出版されているため、フランス語で書かれたものを現在日本でも多くの出版社から訳されているため、微妙にタイトルが違う曲もある。ここでは音楽之友社から出版されている『ウィーン原典版 ブルクミュラー25の練習曲 作品100』（初版にもとづく校訂，学習のための助言，指使い 種田直之³⁾）を使うこととする。

表1 各曲の内容と幼教の学生を指導して見えてくるもの

番号	拍子	調	形式	ポイント	幼教の学生を指導して
1.素直な心	C	ハ長調	二部形式	8分音符レガート（手のスムーズな移動）	
2.アラベスク	2/4	イ短調	三部形式	16分音符の粒を揃える	とても人気があり演奏したがる曲ではあるがテンポがしっかり取れないので左の16分音符でくずれ試験の時点数が取りにくい、17～18小節の指使いで苦勞する
3.牧歌	6/8	ト長調	三部形式	左和音の弾き方、6/8のゆったり感	牧歌のゆったり感を表現するのが難しい
4.小さな集まり	C	ハ長調	三部形式	重音（3・6度）連続の練習	
5.無邪気	3/4	ヘ長調	二部形式	順次進行	9～12小節の右リズムのアーティキュレーションで苦勞するが、比較的弾ける
6.進歩	C	ハ長調	三部形式	10度の並行進行、裏拍でのアクセント	
7.清い小川	C	ト長調	三部形式	右1の指に旋律、三連符の練習	右手だけで2声演奏するのが難しい、9～15小節左から右への三連符のリズムの流れが悪いので2つのメロディーとして聴こえてこない
8.優美	3/4	ヘ長調	三部形式	右2から1くぐりの練習	学生が嫌う曲、8分音符と32分音符で作るリズムが取れない（8分音符が待てない）
9.狩 ▲	6/8	ハ長調	ロンド形式	アフタクト、ホルンの響き、単音・和音の連打	イメージがつかみやすいのか人気のある曲、ただ右単音連打5-1-2の指使いが難しいようになかなか軽快には聴こえてこない
10.やさしい花	C	ニ長調	三部形式	スタッカートにつけ方、装飾音符入れ方	比較的好む曲であるがスタッカートが短過ぎてやわらかい雰囲気が出てこない
11.せきれい	2/4	ハ長調	二部形式	分散和音の練習	分散和音の指の移動がなかなか難しいようので人気がない曲
12.別れ ▲	C	イ短調	三部形式	アフタクト、三連符のなめらかな弾き方	
13.なぐさめ	C	ハ長調	二部形式	片手で2声を表現（指の独立のテクニック）	
14.シュタイヤーのおどり (▲)	3/4	ト長調	ロンド形式	軽快な舞曲、8小節ごとの表情変化を弾き分ける、右大きな跳躍	曲自体は好むが全体に弾きにくいのか、特に跳躍が難しいのと装飾音が入れにくいいため軽快さが出ず、試験の時点数に結びつかない
15.バラード	3/8	ハ短調	三部形式	左でメロディーを弾く、劇的な作品	ドラマティックな曲なので人気がある、87～90小節のユニゾンが揃わない
16.ひそかな嘆き	C	ト短調	一部形式	テンポを考えて弾かないと主旋律が伴奏に消されてしまう	短調で曲全体の感じがつかみにくく難しいので人気がない
17.おしゃべり	3/8	ヘ長調	三部形式	速い連打でおしゃべりを表現 3度重音をレガートで弾く	

番号	拍子	調	形式	ポイント	幼教の学生を指導して
18.気がかり	2/4	ホ短調	三部形式	拍頭左から右への音楽の流れの捉え方	
19.アヴェ・マリア	3/4	イ長調	三部形式	和音による音楽的表現、ペダルの練習	ペダルを踏むと濁り、指ペダルではぎりぎりまで伸ばせず困難な曲
20.タランテラ(▲)	6/8	ニ短調	ロンド形式	舞曲なので速さを保ち情熱的に弾く	15番と共に人気はあるが、速さと激しさを表現するのが難しい
21.天使の音楽	C	ト長調	三部形式	アルペジオ（左右受け渡し）の練習	意外に暗譜は直ぐ出来、形も作りやすいが人気はない
22.舟歌	6/8	変イ長調	バルカローレ	バルカローレを表現するためのテンポと左和音のきざむリズムの弾き方	
23.再会	6/8	変ホ長調	三部形式	全体スタッカートの中でのスラーを美しく	
24.つばめ	C	ト長調	一部形式	左右のすばやい移動と交差の練習	
25.貴婦人の乗馬	C	ハ長調	三部形式	特に新しい技術は出てこないが、9番狩での馬とは異なり女性が乗っている穏やかなイメージで弾く	最後の曲とあって人気度も高いが、8分休符の入れ方が難しいのか、馬の蹄のように聴こえてこない

▲=アウフタクト<弱起>の曲、 (▲) =メロディーの入りがアウフタクトの曲

自由記述で書かれた「幼教の学生を指導して」から言えることは、まずは平易な曲を選んで弾ける楽しみを十分に味わわせながら、自己達成感・自己効力感を抱かせて、徐々に難解な曲にチャレンジさせると良いということである。

Ⅲ 保育園・幼稚園で使われる弾き歌いの曲の傾向

保育士としてピアノを主に使うのは、「歌う」活動の時が中心となってくるので、今回は2011年に出版された『保育園・幼稚園の先生の声で選んだ 保育のピアノ伴奏 子どもの大好きなうた150曲』（乳幼児教育研究所，阿部直美 監修）⁴⁾を参考に研究してみた。なお、中にはハ長調に移調されている曲もあるが、原曲で分類する。

表2 150曲の調と拍子の内訳

曲目	調	2/2	2/4	3/4	4/4	3/8	6/8
【生活のうた】 11 曲							
朝のうた	ハ長調		○				
わらっておはよう	ニ長調				○		
おててをあらしましょう	ハ長調		○				
て、て、手をあらおうの歌	ハ長調				○		
おべんとう	ハ長調		○				
いただきます	変ロ長調				○		
はをみがきましょう	ハ長調		○				
まねっこはみがき	ハ長調			○			
おかたづけ	ハ長調				○		
かたづけマン	ハ長調				○		
おかえりのうた	ハ長調				○		
【行事のうた】 34 曲							
ハッピー・バースデー ▲=アウフタクト	ト長調			○			
たんじょうび	ハ長調		○				
うたっておめでとう	ハ長調				○		
せんせいとお友だち	ハ長調				○		

ブルクミュラーの学び方

曲目	調	2/2	2/4	3/4	4/4	3/8	6/8
あくしゅでこんにちは	ニ長調		○				
こいのぼり	ニ長調			○			
かしわもちギョッギョッ	ハ長調				○		
おかあさん	ニ長調				○		
どんなおひげ	ニ長調				○		
バスごっこ	ハ長調				○		
ピクニック	ト長調				○		
えんそくバス	ハ長調				○		
たなばたさま	ト長調		○				
きらきらぼし	ニ長調				○		
水あそび	ト長調		○				
夏だよプールだよ	ハ長調		○				
キャンプだホイ	ト長調				○		
月	ハ長調		○				
うさぎ	イ短調		○				
かたたたき	ハ長調				○		
うんどうかい	ハ長調				○		
七五三サンバ	変ロ長調		○				
赤鼻のトナカイ	ハ長調				○		
あわてん坊のサンタクロース ▲	ハ長調	○					
ジングルベル ▲	ト長調				○		
豆まき	ニ長調		○				
おひなさま	ハ長調		○				
うれしいひなまつり	ハ短調		○				
おわかれかいのうた	ハ長調				○		
思い出のアルバム	変ホ長調						○
そつぎょうしきのうた	ハ長調				○		
一年生になったら	ハ長調				○		
ドキドキドン！一年生	ハ長調				○		
さよならほくたちのほいくえん ▲	ト長調				○		
季節のうた							
【春 3・4・5月】 15曲							
春が来た	ハ長調				○		
チューリップ	ハ長調		○				
ちょうちょう	ト長調		○				
メリさんの羊	ハ長調		○				
春の小川	ハ長調				○		
おはながわらった	ハ長調		○				
ちっちゃないちご	ハ長調				○		
こどりのうた	ハ長調				○		
赤い鳥小鳥	ハ長調		○				
山のワルツ	変ホ長調			○			
めだかの学校	ニ長調				○		
ぶんぶんぶん	ハ長調		○				
アルプス一万	ト長調		○				
さんぽ	ハ長調				○		
はたけのポルカ	ハ長調		○				
【夏 6・7・8月】 16曲							
あめふりくまのこ	ニ長調		○				
かえるの合唱	ハ長調				○		
かたつむり	ニ長調		○				
大きな古時計 ▲	ト長調				○		
とけいのうた	ニ長調				○		
海	ト長調			○			
しゃぼんだま	ニ長調		○				
カバさんのすいどう	ニ長調				○		

ブルクミュラーの学び方

曲目	調	2/2	2/4	3/4	4/4	3/8	6/8
ありさんのおはなし	へ長調			○			
おつかいありさん	二長調		○				
アイスクリームの唄 ▲	変口長調				○		
おひさまにジャンプ	変口長調				○		
アイ・アイ	ハ長調				○		
オバケなんてないさ	ト長調				○		
とんでったバナナ	ハ長調				○		
南の島のハメハメハ大王	へ長調				○		
【秋 9・10・11月】 16 曲							
とんぼのめがね	ハ長調		○				
大きな栗の木の下で	ハ長調		○				
きのこ	へ長調		○				
小ぎつね	二長調		○				
どんぐりころころ	ハ長調		○				
やきいもグーチーパー	ハ長調				○		
こおろぎ	変ホ長調		○				
虫の声	二長調		○				
小さい秋みつけた	ホ短調				○		
松ぼっくり	へ長調		○				
村祭	へ長調		○				
まっかな秋	へ長調				○		
紅葉	へ長調				○		
もみじ	二長調		○				
たぬきのたぬきうた	ハ短調				○		
山の音楽家 ▲	ト長調		○				
【冬 12・1・2月】 14 曲							
北風小僧の寒太郎 ▲	へ長調				○		
たき火	ハ長調		○				
やさいがハクション	へ長調				○		
こんこんクシャンのうた	へ長調		○				
雪	へ長調		○				
ゆきのべんきやさん	へ長調		○				
しずかなよるに	ト長調				○		
お正月	へ長調				○		
カレンダーマーチ	二長調				○		
たこの歌	へ長調		○				
いとまき	へ長調				○		
もちつき	ハ長調		○				
ゆげのあさ	二長調		○				
ペンギンちゃん	ト長調				○		
【定番・人気のうた】 33 曲							
ぞうさん	へ長調			○			
大きなたいこ	へ長調		○				
ふしぎなポケット	ト長調		○				
手をたたきましょう	ハ長調				○		
おうま	ハ長調				○		
やぎさんゆうびん	へ長調		○				
線路は続くよどこまでも	ト長調				○		
おんまはみんな	ハ長調				○		
おなかのへるうた	二長調		○				
森のくまさん ▲	ハ長調		○				
コブタヌキツネコ ▲	二長調				○		
あらどこだ	変口長調				○		
ニワトリかぞえうた	ハ長調		○				
はたらくくるま	ト長調				○		
そうだったらしいのにな	ハ長調				○		

ブルクミュラーの学び方

曲目	調	2/2	2/4	3/4	4/4	3/8	6/8
ドロップスのうた	ニ長調		○				
汽車ぼっぼ	ヘ長調		○				
たのしいね	ヘ長調				○		
朝一番早いのは	ハ長調				○		
ホ！ホ！ホ！	ニ長調				○		
手のひらを太陽に	変ホ長調				○		
動物園へ行こう	ト長調	○					
にんげんっていいな	ト長調				○		
小さな世界 ▲	ト長調				○		
ミッキーマウスマーチ	ヘ長調		○				
世界中のこどもたちが ▲	ト長調				○		
アンパンマンのマーチ	イ長調	○					
ドレミの歌	変ロ長調		○				
クラリネットをこわしちゃった	ヘ長調	○					
幸せなら手をたたこう ▲	ト長調				○		
いぬのおまわりさん	ニ長調				○		
おもちゃのチャチャチャ	ハ長調				○		
夕焼け小焼け	ハ長調		○				
【手あそびうた】 11曲							
パンダうさぎコアラ	ニ長調				○		
むすんでひらいて	ハ長調		○				
げんこつやまのたぬきさん	ハ長調				○		
グーチョキパーでなにつくろう	ニ長調				○		
とんとんとんひげいさん	ハ長調				○		
いっしょうめドラねこ	ハ長調		○				
てんぐのはな	ヘ長調		○				
おはなしゆびさん	ヘ長調				○		
パンやさんにおかいもの	ヘ長調				○		
山ごやいっけん	ヘ長調		○				
さあみんで	ニ長調				○		

表3 テーマごとの調の内訳 (曲数)

	ハ長調	ト長調	ヘ長調	ニ長調	変ロ長調	イ長調	変ホ長調	イ短調	ホ短調	ハ短調	合計
生活のうた	7	0	2	1	1	0	0	0	0	0	11
行事のうた	9	7	8	6	1	0	1	1	0	1	34
季節のうた											
春 (3・4・5月)	5	2	6	1	0	0	1	0	0	0	15
夏 (6・7・8月)	2	3	3	6	2	0	0	0	0	0	16
秋 (9・10・11月)	4	1	5	3	0	0	1	0	1	1	16
冬 (12・1・2月)	2	2	8	2	0	0	0	0	0	0	14
定番・人気のうた	9	8	7	5	2	1	1	0	0	0	33
手あそびうた	4	0	4	3	0	0	0	0	0	0	11
合計	④②	23	④③	②⑦	6	1	4	1	1	2	150

表4 テーマごとの拍子と調の内訳 (曲数)

	2/2	2/4	3/4	4/4	3/8	6/8	合計	使われている調
生活のうた	0	4	1	6	0	0	11	ハ長調 7、ヘ長調 2、ニ長調 1、変ロ長調 1
行事のうた	1	11	2	19	0	1	34	ハ長調 9、ト長調 7、ヘ長調 8、ニ長調 6、変ロ長調 1、 変ホ長調 1、イ長調 1、ハ短調 1
季節のうた								
春 (3・4・5月)	0	8	1	6	0	0	15	ハ長調 5、ト長調 2、ヘ長調 6、ニ長調 1、変ホ長調 1
夏 (6・7・8月)	0	4	2	10	0	0	16	ハ長調 2、ト長調 3、ヘ長調 3、ニ長調 6、変ロ長調 2
秋 (9・10・11月)	0	11	0	5	0	0	16	ハ長調 4、ト長調 1、ヘ長調 5、ニ長調 3、変ホ長調 1、 ホ短調 1、ハ短調 1
冬 (12・1・2月)	0	7	0	7	0	0	14	ハ長調 2、ト長調 2、ヘ長調 8、ニ長調 2
定番・人気のうた	3	11	1	18	0	0	33	ハ長調 9、ト長調 8、ヘ長調 7、ニ長調 5、変ロ長調 2 イ長調 1、変ホ長調 1
手あそびうた	0	4	0	7	0	0	11	ハ長調 4、ヘ長調 4、ニ長調 3
合計	4	60	7	78	0	1	150	

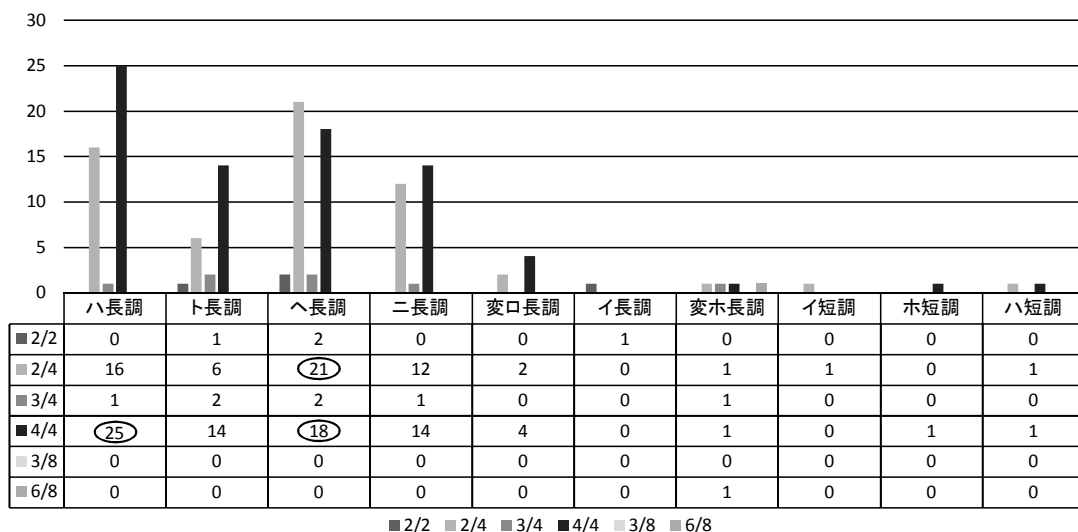


図1 150曲の拍子と調の内訳 (曲数)

表1、2および図1より、『子どもの大好きなうた150曲』⁴⁾で多く使われているのは調だけで見ると、ヘ長調とハ長調がほぼ同数で、次がかなり空いてニ長調となる。拍子だけで見ると、ほぼ2/4拍子と4/4拍子だけとなる。調と拍子の二項目で見ると、第1位はハ長調4/4拍子、第2位はヘ長調2/4拍子、第3位は同じくヘ長調4/4拍子、第4位はハ長調2/4拍子、第5位はト長調とニ長調4/4拍子となる。またアウフタクト（弱起）の曲は、150曲中13曲とかなり少ない。

産声は一点イ音と言われるが、乳幼児の声域はおおよそ一点ハ音か一点ニ音から、一点ト音か一

点イ音まで⁵⁾そこから段々と広がっていくものであり、この曲集でハ長調、ハ長調、ニ長調が多いのも納得いくことである。

子どもたちに無理のない声で歌わせるためにも、選曲はよく考えて行い、原調が難しい場合は移調も考える必要がある。

Ⅳ 大阪城南女子短期大学での4年間の「ブルクミュラー」

大阪城南女子短期大学(以下、「本学」という)では音楽ⅠA・ⅠB・Ⅱの授業の中でのレッスンで、バイエル、「ブルクミュラー」、ソナチネ、自由曲を使っている。練習している教材は、学生各自の進み具合で違うが、音楽ⅠA・ⅠB(1年生)の間にバイエルをクリアしなくてはいけない。音楽Ⅱ(2年生)に上がる時には、「ブルクミュラー」、ソナチネ、自由曲のどれかを練習していることとなっている。

今回2014～2017年、音楽Ⅱの各年度前期4年間のブルクミュラーの本学で使われている曲(No.2・3・5・7・8・9・10・11・14・15・16・19・20・21・25以上15曲)の選択人数と演奏の評価点を表5、表6と図2に表わして見た。但し、ここでの点数はあくまで純粋に演奏しただけのもので、音楽Ⅱとしての評価点ではないのでお断りしておく。表6の評価点の平均とは、各学生の演奏を、100点満点で音楽Ⅱのピアノレッスン担当教員7～8名(時限によって人数が違う)それぞれが出した点数を足して教員数で割りだした評価点を、曲ごとに足し受験人数で割ったものである。

表5 年度別各曲の選択人数

ブルクミュラー 曲番号	2014	2015	2016	2017	合計	選曲順位
No.2	1	7	2	4	14	9
No.3	14	2	7	4	27	5
No.5	20	18	35	12	85	①
No.7	9	3	8	12	32	4
No.8	3	3	3	1	10	11
No.9	2	5	3	11	21	6
No.10	10	13	4	9	36	③
No.11	1	1	0	0	2	15
No.14	4	4	2	2	12	10
No.15	9	12	15	22	58	②
No.16	3	3	1	0	7	12
No.19	1	2	1	1	5	14
No.20	9	6	3	1	19	7
No.21	1	5	0	0	6	13
No.25	4	3	5	3	15	8
ブルクミュラーで 受けた人数 / 受験総人数	91/123	87/123	89/126	82/110		

表5「年度別各曲の選択人数」が示すように、第1位はNo.5「無邪気」で、第2位はNo.15「バラード」、第3位はNo.10「やさしい花」であった。第1位の「無邪気」は、テクニク的にそう難しく

もなく曲の形が作りやすいため、学生も教員も試験曲としてよく選ぶ曲である。第2位の「バラード」は、短調の神秘的な始まりに何か劇的なものを感じるのか、演奏したがる学生が多い。また第3位の「やさしい花」は、第2位の「バラード」とは全く雰囲気異なる曲で、テンポがModeratoで穏やかであることと曲の響きの穏やかさが、学生に「この曲ならば弾けるかも」という安心感を与えるようで、この曲を選ぶ学生も多い。

表6 年度別各曲の評価点の平均

ブルクミュラー 曲番号	2014	2015	2016	2017	4年間の 評価点の 平均	順位
No.2	68.0	70.1	69.0	68.8	69.0	12
No.3	71.8	70.0	70.1	71.0	70.7	10
No.5	72.3	69.5	69.7	69.8	70.3	11
No.7	73.3	70.3	69.8	71.5	71.2	9
No.8	73.3	70.7	69.3	72.0	71.3	8
No.9	74.0	69.2	70.3	72.1	71.4	7
No.10	73.2	70.7	70.8	72.0	71.7	6
No.11	75.0	71.0	0	0	36.5	15
No.14	74.5	69.8	71.5	72.5	72.1	5
No.15	74.1	71.8	71.2	72.3	72.4	③
No.16	74.7	69.7	70.0	0	53.6	13
No.19	75.0	74.0	73.0	72.0	73.5	①
No.20	73.2	70.2	73.3	73.0	72.4	③
No.21	76.0	71.0	0	0	36.8	14
No.25	73.0	74.0	72.4	73.0	73.1	②
平均	73.4	70.8	61.4	57.3		

表6は、「年度別各曲の評価点」である。評価点の平均の4年間を高い順で見ると、第1位はNo.19「アヴェ・マリア」、第2位はNo.25「乗馬」、第3位がNo.15「バラード」とNo.20「タランテラ」であった。

第1位の「アヴェ・マリア」この曲に関しては、コーラルの感じをつかめる学生とつかめない学生が出てくるため、なかなか試験曲に選ぶには教員側から言えば勇気がある曲であるが、評価点が1位というのは意外であった。第2位の「乗馬」は、この曲集の最後の番号の曲ということで弾きたがる。第3位の「バラード」と「タランテラ」は、どちらも短調で激しさのある曲なので物語性を感じるのか学生から人気がある。この評価点の結果は、まさしく、好きこそもの上手なれであった。

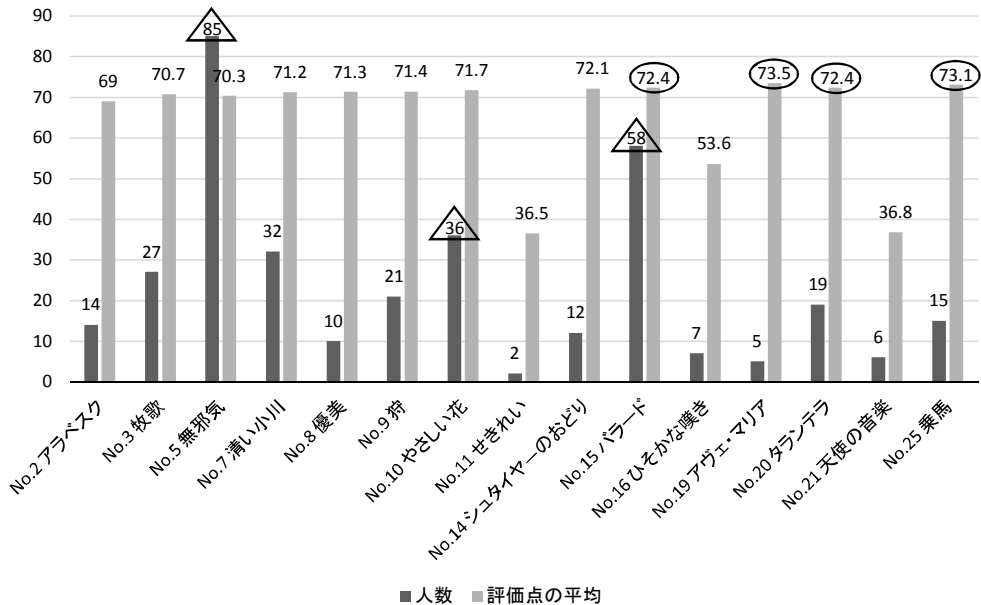


図2 2014～2017年度「ブルクミュラー」各曲の選択人数と評価点の平均

以上のことより見えてくるものは、選択人数が多いのは第1位No.5「無邪気」85人、第2位No.15「バラード」58人、第3位No.10「やさしい花」36人であるが、評価点の平均は第1位No.19「アヴェ・マリア」73.5、第2位No.25「乗馬」73.1、第3位No.15「バラード」とNo.20「タランテラ」72.4で、必ずしも選択曲の人気と評価点の平均の高得点が、一致していなかった。どちらも第3位に挙がった曲は、No.15「バラード」だけであった。

おわりに

「ブルクミュラー 25の練習曲 作品100」の正式なタイトルは、「ピアノのためのやさしく段階的な25の練習曲 小さな手を広げるための明快な構成と運指 作品100」⁴⁾ というもので、

このタイトルが物語通り、ピアノ入門者がテクニックを学ぶのに最適なエッセンスが、親しみやすい標題の付いた各曲に色々含まれている。しかし残念なことではあるが、保育士養成校の授業で全25曲を学べるだけの時間が無いのが、現状である。

今回『子どもの大好きなうた150曲』の分析から、筆者は養成校での「ブルクミュラー」の曲選択について学び順に、No.1「素直な心」、No.5「無邪気」、No.2「アラベスク」、No.9「狩」、No.15「バラード」、No.25「乗馬」の6曲を優先的に学べば良いのではないかと考える。勿論、No.19アヴェ・マリアやNo.20タランテラも入れたいところではあるが、保育士養成校の学生がピアノを弾くのに大事なことは、現場で使えることすなわち、園児が楽しく乗れる雰囲気を作ってあげ

ることが一番であり、通常のピアノレッスンで求めるものとは、少し意味合いが違ってくる。

特にピアノの練習は毎日行わなくては弾けるようにはならず、地道な努力と継続が必要なのであるが、なかなか練習をしてこないし、放課後ピアノ練習室で練習をしている学生を、ほとんど見かけなくなったのが現状である。

しかし、「この頃の学生は…」と言っているも埒が明かないことで、ならばどのようにすれば学生が前を向いてくれるのか、答えは簡単、楽しいと思わせること。すなわち次の授業につなげるために、小さな達成感を毎回味合わせて、出来上がる喜びを体験させることである。

このことは、今後学生が保育士として、子どもたちと接するにあたって、大切な考え方となってくる。

もちろんピアノをマスターする上で、色々覚えなくてはいけないテクニックもあるし、指使い通り弾かすことも大切だが、それにばかり気を取られては音楽が『音が苦』になってしまい、子どもたちに伝えるどころではなくなってしまふ。

ならば「ブルクミュラー」はこの6曲で内容的にも、保育士養成校の学生が弾き歌いに使う要素は十二分に含まれているし、これらの曲（No.1以外）については実際指導していても、完璧などまでは言えないが、各々が一生懸命、自分のイメージしている音楽に近づけようと頑張ってくる。

そういうことの方が、保育士養成校の学生には大切であり、現場で子どもたちに「伝える」という役目が果たせると考える。

たとえ保育士養成校に入学してからピアノを始めた学生であったとしても、短ければ2年後には現場に立たざるを得ない。それらの学生をどのように導けば、現場で使えるピアノが弾けるようになるかは、今の学生と昔の学生の学びの姿勢が違うから出来なくても仕方がないのではなく、時代状況に対応した私たち教員の創意工夫が試されているのである。

引用・参考文献

- 1) 安田 寛. “B&B「バイエル」はなぜ日本に来たか?” ムジカノーヴァ2006年9月号, 音楽之友社, p.62.
- 2) 飯田有抄・前島美保. ブルクミュラー25の不思議 なぜこんなにも愛されるのか, 音楽之友社, 2014.
- 3) ブルクミュラー 25の練習曲 作品100 (ウィーン原典版): 初版にもとづく校訂, 学習のための助言, 指使い 種田直之. 音楽之友社, 1990.
- 4) 飯田有抄・前島美保. ブルクミュラー25の不思議 なぜこんなにも愛されるのか. 音楽之友社, 2014, p.22.
- 5) 庄司洋江. “歌う活動の発達”, “声域”. 三森桂子編著. 音楽表現. 一藝社, 2010. (新・保育内容シリーズ5 谷田貝公昭 監修), p.92, p.94.
- 6) ブルクミュラー 25の練習曲. 解説 春畑セロリ. 音楽之友社, 2006.
- 7) ブルクミュラー 25の練習曲. 校訂解説 井内澄子・解説 門馬直美. カワイ出版, 1980.
- 8) 保育のピアノ伴奏: 保育園・幼稚園の先生の声で選んだ: 子どもの大好きなうた150曲. 阿部直美 監修. 日本文芸社, 2011.

(いのうえ ひろこ: 非常勤講師)

ブルクミュラーの学び方